

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 169 号 2012. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

今回は、体を急激に病んだ際、自然農法の作物を食べることができ、徐々に癒されていったという二人の男性の体験が寄せられました。人為的に、また一時的に病気を抑えるのではなく、根本から人間の体を整える「本来の作物の有り方」が実証されている、と言えるのではないのでしょうか。

のど疾患の衰弱から回復！

神奈川県 秋山朋紀



私は扁桃腺が弱く、これまでに三度扁桃腺が腫れ、痛みで食事が摂れなくなることがありました。とにかく固形物を飲み込むのがつらいので、扁桃腺が腫れたときは、豆腐やゼリー等でしのいでいました。

しかし、昨年の夏に扁桃腺が腫れた際には、過去二回るときは、まともな食事が摂れない期間が約一週間程度でしたが、このときは約二週間、食事が摂れませんでした。豆腐やゼリーしか食べられない期間が一週間を越えたころ、栄養不足からか、ささいなことでも手足がつかまってしまうようになりました。

そんなとき、栄養を取るために妻が工夫して作ってくれたのが、自然農法のじゃがいものスープをミキサーで液状にして、のどを通りやすくしてくれたものでした。これは美味しく頂くことができ、体に力が湧くように感じました。

このころから少しずつ自然農法の野菜で作ったものが、のどを通るようになり、徐々に回復に向かい、この後一週間後には扁桃腺の腫れも引きました。

今回の体験を通して、食べられることのありがたさを感じることができました。

心臓部の急激な痛みが回復！

東京都 飯塚吉男



昨年の11月初旬、お昼間もないころのことです。家の雨どいのサンが腐食していたため、修繕しようと取り外していたとき、突然、心臓部の圧迫で息苦しくなり、立っているのがつらくなり、横になりました。次第に息苦しさが心臓部の痛みに変わり、事の大変さを知り、妻を呼びました。妻はいろいろしてくれましたが、痛みは治まりませんでした。医療にはなるべく掛かりたくありません。

しばらくして、妻が自然農法のみかんジュースを持ってきてくれ、50ccほど飲むことができました。吐きたい状態になり、しばらくして痰を出しましたが、不思議にもみかんジュースを吐くことはなく、これによって少し楽になりました。

まだ、首を左右に動かすだけで心臓部が激しく痛むといった状態ではありましたが、なんとか我慢して歩けるまでになりました。尿の回数が一日2回くらいで、それではダメと知人に言われていて、その知人から頂いた自然農法のほうじ茶も飲むことができました。その夜は妻がずっと横にいて看病してくれ、心臓部の痛みはありましたが、眠ることもできました。

翌日は熱を出し、動悸、胸痛、全身倦怠感、食欲不振といった状態が続き、体は自然農法のみかんジュース、ゼリー、ほうじ茶しか受け付けませんでした。しかし、お昼には自然米のおかゆを食べられるまでになり、それ以降はできる限り自然農法の食材をとるようにして、6日後にはやや普通の食事ができるようになりました。今回のことで改めて自然農法の作物のすごさを実感しました。

コチニール色素に注意

上記お二人の男性の体験を通し、自然農法の作物の素晴らしさを学びましたが、今度は逆に、私たちが日々摂取する食材に使われている着色料の怖さについて触れます。

5月11日、消費者庁が「コチニール色素に関する注意喚起」を行いました。コチニール色素はエンジムシ(中南米産の昆虫)から得られた赤色の着色料で、それを含む食品の摂取や化粧品の使用により、かゆみ、じんましん、発疹、呼吸困難などのアレルギー症状を示した事例報告があったというので

す。(場合によって重篤なアレルギー反応)

コチニール色素は清涼飲料水、菓子類、ハム、かまぼこなどの食品や、口紅、アイシャドーなど化粧品、また医薬品、医薬部外品に使用され、私たちは毎日のように口にしますので、明日からまったく摂取しないということは難しいですが、少しでも気をつけていく必要があると思いました。

また、このような添加物の問題は他にもたくさんあると思いますので、次々と公表してもらいたいですし、添加物だけではなく、農薬や肥料など全般をふまえ、本来人間が食すべきものを考えていくことが大切ではないかと思いました。

着色料でアレルギー

加工食品や飲料、化粧品などに使われている着色料「コチニール」の摂取でアレルギー反応が起る可能性があるとして、消費者庁が注意喚起を行っています。同庁が食品添加物のアレルギー検査で、注意喚起の対象として初めて、厚生労働省もコチニール入りの食品を扱う全国の事業者に対し、注意喚起が実施されることになりました。

コチニールは、中南米などに生息するエンジムシが原料の赤色の着色料で、食品衛生法で食品添加物として認められています。飲料や菓子、医薬品、化粧品などに広く利用されています。今年4月、国内の病院から報告された「コチニール入りの飲料がアレルギー反応を引き起こした」という事例が、大半はアレルギー反応でした。

消費者の報告があった。過去にもコチニール摂取によるアレルギー反応が報告された。アレルギー反応を引き起こすと言われている。アレルギー反応を引き起こすと言われている。アレルギー反応を引き起こすと言われている。

飲料、口紅…赤色「コチニール」 消費者庁が注意呼び掛け

5月16日 毎日新聞朝刊 記事

市川生産グループお茶摘み スタッフ 石井美子



5月19日、静岡県長原原において、快晴の中、お茶摘みが行われました。

先週の12日に生育状況を確認したときには、まだ芽が小さく、19日に摘むことができるだろうかと、ずいぶん心配しましたが、葉は見違えるほど大きくなっていました。また、昨年しっかり剪定した甲斐あって、たくさん新しい葉が出て、とても柔らかく摘みやすい、素敵な茶葉たちでした。

地主の杉山様ご家族4名がお手伝いに来てくださり、総勢33名で作業を行いました。杉山様からも「良い葉になったね」と言っていたことができました。

参加者の方からは「お茶の香りがとてもよく、幸せな気持ちで摘むことができた」「柔らかな葉の感触がとてもよかった」などの声が聞かれました。「具合が悪く、水さえも飲めない状態であった方が、自然のほうじ茶は飲むことができた」「自分自身も、自然のお茶以外は体が受け付けない」など、「自然のお茶で救われることが多く、感謝の気持ちで参加した」という方もいました。

農薬も肥料もやらないことにより、自然の力を取り入れて、お茶自身のおいしさを発揮できるのではないのでしょうか。今年の収量は120.6kg。一人でも多くの方に、自然のお茶を飲んで、自然の恵みを体感していただきたいと思います。



おしらせ

自然農法頒布会 6月18日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

自然農法頒布会 6月30日(土) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)

~ 自然の野菜、お米、お茶などを購入できるチャンス! ぜひ味わってみてください! ~

無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 新茶、みかんジュース(ピン入り・コップ)
- きじま平自然農産: 赤かぶ甘酢漬け、豆糰、ピリ辛糰、もち米、白米、きじま弁当
- 長柄山自然農園: 卵 ● 中島農園: サヤエンドウ、コマツナ、フキ
- ジョリフィーユ: 自然のみかんジュースゼリー、カスタードプリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp